

には、リンクがあります。 は、WAMNETの事業者情報にリンクします。

事業所名	グループホーム厚淳苑
日付	平成17年2月4日
評価機関名	社会福祉法人 岡山県社会福祉協議会
評価調査員	特別養護老人ホーム等での認知症高齢者介護歴 9年 介護支援専門員歴 3年
<input type="button" value="自主評価結果を見る(事業所の自主評価結果にリンクします)"/>	
<input type="button" value="評価項目の内容を見る(岡山県の定めた評価項目へリンクします)"/>	
<input type="button" value="事業者のコメントを見る(評価結果に対する事業者の改善状況についてコメントがあります!)"/>	

外部評価の結果

<p>調評</p> <p>全体を通して(特に良いと思われる点など)</p> <p>当ホームは町の中心に位置し、周囲に役場、幼稚園、小学校、公民館、神社があるなど、地域と交流を図るうえでも思われており、安心して生活できる環境です。</p> <p>病院の2階部分をグループホームとして改築しているため、ハード面では病院の雰囲気があります。しかし、ホームの随所に季節の植物や飾りつけなど施し、少しでも入居者が落ち着いて生活できるような家庭的雰囲気になるよう工夫されていることが感じられました。</p> <p>母体が病院のため医療面での連携ができており、安心して生活できます。</p> <p>経営者が高齢者福祉に理解があるため、経営者自身も研修等に積極的に参加し、スタッフへの情報提供を積極的に行っています。そのため、スタッフとのコミュニケーションは良好であり、現場からの要望についても前向きに検討してもらえる体制になっています。</p> <p>スタッフは入居者に優しく接しており、「真心で家族の味わいを」という理念に沿った支援を心がけています。</p> <p>問題発生時のスタッフの意識の持ち方や、ケアに関する内容についても積極的に話し合いが持たれ、情報の共有化が図られています。</p> <p>玄関のドアは常に開放されており、家族だけでなく近所の方も面会に訪れるなど、いつでも面会を受け入れる体制が整っています。</p>
<p>特に改善の余地があると思われる点</p> <p>1. パンフレットにある理念をホーム内に掲示されると、入所されている方や来苑される方にも伝わりやすく、スタッフにも自身を見直すきっかけになるのではないのでしょうか。</p> <p>2. 入居者やご家族の要望を取り入れようとされていますが、さらに、入居者や家族の思いなどを情報収集しやすいアセスメントシートを工夫し、その入らしさが現れるようなプランが計画・実施できると良いのではないのでしょうか。</p> <p>3. 現在は入居者の状態によりスタッフが一緒に食事をすることが難しいようですが、いずれは一緒に食事を楽しめるようになれば、さらによりよいケアに繋がるのではないのでしょうか。</p> <p>4. サービスの質を担保するうえで、職員の資格取得に向けての取り組みが必要だと思います。</p>

運営理念

番号	項目	できている	要改善
1	理念の具体化、実現及び共有		
記述項目	<p>グループホームとしてめざしているものは何か</p> <p>・「真心で家族の味わいを」感じてもらいたいと思っています。</p> <p>・入居者に「ここが私たちのホームです」と思ってもらえるように、家族のように皆で仲良く生活ができるようにケアをしています。</p> <p>・入居者が安心して生活できるように工夫し、入居者と一緒に考えることを大切にしています。</p>		

ケアサービス(つづき)

番号	項目	できている	要改善
18	排泄時の不安や羞恥心等への配慮		
19	入居者一人ひとりの入浴可否の見極めと希望にあわせた入浴支援		
20	プライドを大切にされた整容の支援		
21	安眠の支援		
22	金銭管理と買い物支援		
23	痴呆の人の受診に理解と配慮のある医療機関、入院受け入れ医療機関の確保		
24	身体機能の維持		
25	トラブルへの対応		
26	口腔内の清潔保持		
27	身体状態の変化や異常の早期発見・対応		
28	服薬の支援		
29	ホームに閉じこもらない生活の支援		
30	家族の訪問支援		
記述項目	<p>一人ひとりの力と経験の尊重やプライバシー保護のため取り組んでいるものは何か</p> <p>一人ひとりの、これまでの生活の中から、できることを見つけて行ってもらっています。(洋服の得意な方が浴衣や雑巾を縫う・手芸が好きな方には簡単に出来る手芸の工夫をし、写経をされるかたも希望を聞いています。)</p> <p>一人ひとりを大切にケアしています。トイレ・お風呂場利用の時も、必ずドアを開けて、支援をしています。</p> <p>トイレはノックが聞こえない方もおられるため、カーテンをしてドアを開けても見えないように工夫をしています。</p>		

生活空間づくり

番号	項目	できている	要改善
2	家庭的な共用空間づくり		
3	入居者一人ひとりに合わせた居室の環境づくり		
4	建物の外周や空間の活用		
5	場所間違い等の防止策		
記述項目	<p>入居者が落ち着いて生活できるような場づくりとして取り組んでいるものは何か</p> <p>スタッフは、入居者の全てを受け入れる姿勢(受容すること)を一番大切にしており、入居者が自由に、日中を過ごしている状況からもうかがえます。自宅で送られていた生活が入居後も継続できるよう、家族にも働きかけを行っています。</p>		

ケアサービス

番号	項目	できている	要改善
6	介護計画への入居者・家族の意見の反映		
7	個別の記録		
8	確実な申し送り・情報伝達		
9	チームケアのための会議		
10	入居者一人ひとりの尊重		
11	職員の穏やかな態度と入居者が感情表現できる働きかけ		
12	入居者のベースの尊重		
13	入居者の自己決定や希望の表出への支援		
14	一人でできることへの配慮		
15	入居者一人ひとりにあわせた調理方法・盛り付けの工夫		
16	食事を楽しむことのできる支援		
17	排泄パターンに応じた個別の排泄支援		

運営体制

番号	項目	できている	要改善
31	責任者の協働と職員の意見の反映		
32	家族の意見や要望を引き出す働きかけ		
33	家族への日常の様子に関する情報提供		
34	地域との連携と交流促進		
35	ホーム機能の地域への還元		
記述項目	<p>サービスの質の向上に向け、日頃から、また、問題発生を契機として、努力しているものは何か。</p> <p>入居者のベースに合わせて、ゆったりと過ごせるように努力しています。また、日常の支援の中で“ヒヤッ”としたり、“ハッ”とした場面について、経験豊富な職員から適切な指示指導を行うようにして、情報の共有にも心掛けています。さらに、スタッフがより質の高いケアを提供できるように勉強をする機会を設けたり、会議の際に課題について話し合うようにしています。</p>		